

はじめに 《施工後は当社では責任を負いかねます。》
 ※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。
 運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。
 ※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。

HITECHWOOD

施工前にこの説明書をよく読み、正しく施工して下さい。 施工後はお客様にお渡し下さい。
 ○この商品は屋内用ですので、屋外や水がかかる所には使用しないで下さい。
 ○高温、高湿の環境条件では使用できません。扉の反り、変色などの原因になります。
 ○枠は水平、垂直に取付けし、ねじれがないかを必ずご確認ください。扉の開閉に支障となる原因になります。
 ○扉に粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。

安全についてのご注意。くケガや事故を未然に防止する為以下の事項を必ずお守り下さい。>
 ○運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、二人以上で作業を行って下さい。
 また、接着剤を使用する場合は十分な換気を心がけてください。
 ○材料の加工・切断時は周囲の安全を十分注意し、化粧シート面側からノコギリを入れて下さい。
 裏面から行きますと、化粧シートハガレの原因になります。
 ○引渡し前に工事管理者が不具合などないかを必ず点検を行い、不具合が見付かった場合はその箇所を補修して下さい。

マークの見方

❗ この表示は「必ず実施して頂く」指示内容です。

🚫 この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。

⚠ この表示は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害」の程度です。

施工前の確認

○この商品は「アウトセット「上吊り片引き戸」を用途とする商品です。他の用途として使用したり、施工説明書と異なった施工をした場合のクレームは当社では責任を負いません。
 ○施工時に電動ドライバーを使用する場合はネジ頭の破損を防ぐためトルクの調整をしてください。
 ○部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け十分な養生をしてください。
 ○開口部の寸法を計り、枠が正確に施工されているかご用意のサイズが適切か確認願います。

❗ **製品の上部（鴨居）から100ミリ程度のビス締め可能な高さ、作業スペースを設けた高さ設定にしてください。**

梱包内容の確認（組立て前に必ずご確認ください）

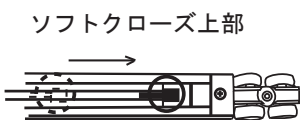
<p>アウトセットレール (ビス付き)</p> <p>× 1</p>	<p>ゴムストッパー (ビス付き)</p> <p>× 2</p>	<p>上下前後調整付吊り車</p> <p>× 1</p>	<p>ソフトクローズ (戸先に標準)</p> <p>× 1</p>	<p>トリガー (ビス、取付具付き)</p> <p>× 1</p>
<p>振れ止め防止金具 (ビス付き)</p> <p>× 1</p>	<p>壁取付けビス M4×50</p> <p>× 12</p>	<p>施工説明書</p> <p>× 1</p>	<p>エンドカバー (ビス付き)</p> <p>左右セット</p> <p>× 1</p>	

◆施工後の処置◆

- 施工後は傷がつかないように養生して下さい。養生テープを表面に直接貼らないで下さい。
- 清掃は柔らかい布に薄めの中性洗剤をつけ、かたくしぼって拭いてください。
- 内装工事が終わるまでの間、引き戸を外して保管されることをお勧めします。

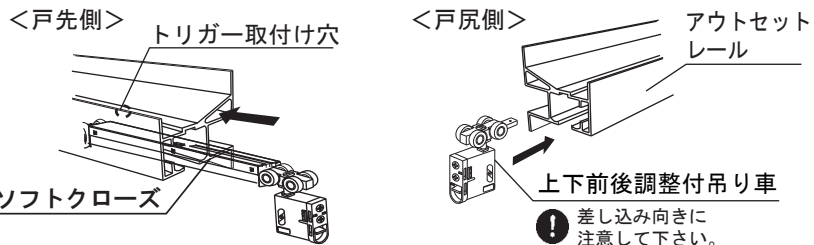
1 ソフトクローズの自動復帰

⊖ドライバー等で下図のように矢印方向にクローザーが効く位置まで引いて下さい。



❗ レールに取り付ける前にクローザーが動作する事を確認して下さい。

・吊り車、ソフトクローズの取り付け
 レールを取り付ける前に、下図1、2のよう示す方向で、調整付吊り車を上レール内に挿入します。

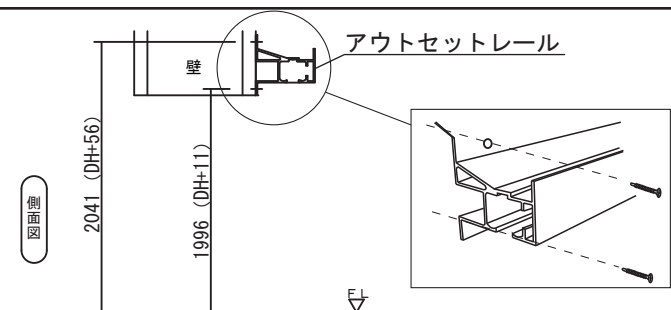


2 アウトセットレールの取付け

アウトセットレールを指定の位置に付属のビスにて壁に固定して下さい。

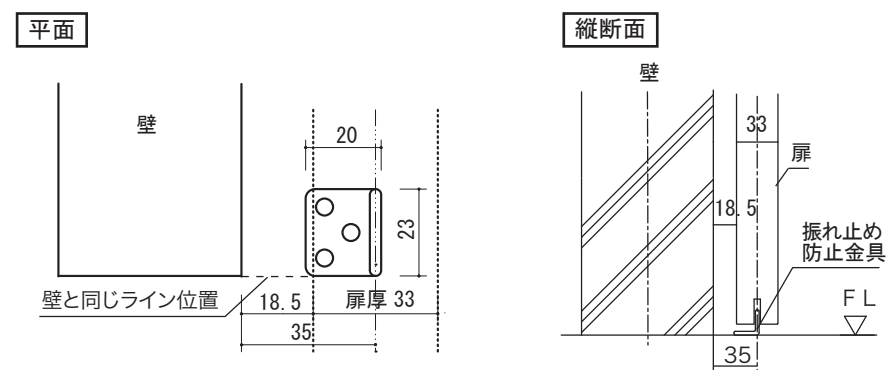
❗ レールは十分に強度のある下地材に固定して下さい

❗ レール取り付け後、レール内のゴミを完全に拭き取りをして下さい。走行不良の原因になります。



3 振れ止め防止金具の取り付け

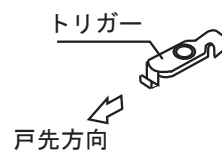
振れ止め防止金具を右図の位置に取り付けてください。垂直に扉が吊り込めるよう、取り付け位置に注意してください。



4 トリガーの取り付け

トリガーの向きに注意して付属のボルト・ナットで取付けて下さい

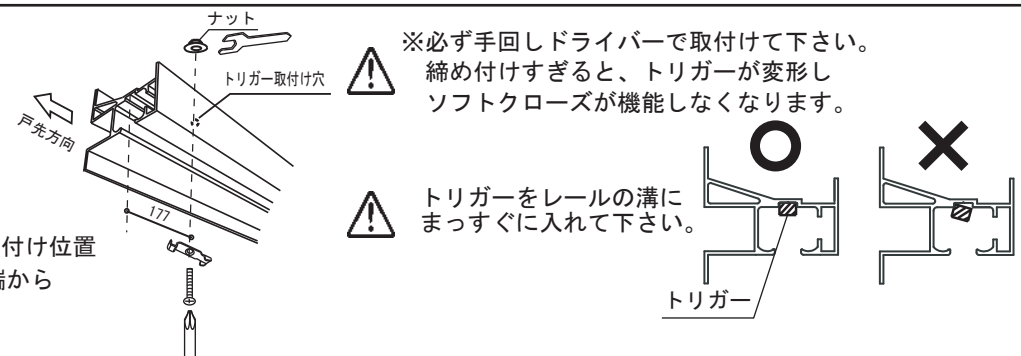
トリガーを取付ける



トリガー取り付け位置
 上レールの端から
 177mmの位置

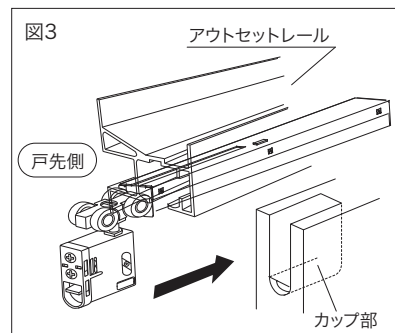
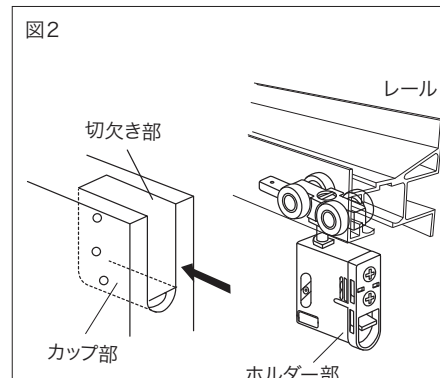
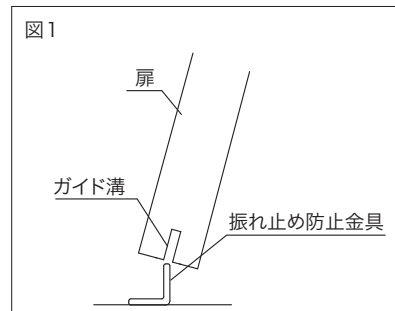
❗必ず手回しドライバーで取付けて下さい。締め付けすぎると、トリガーが変形しソフトクローズが機能しなくなります。

❗ トリガーをレールの溝にまっすぐに入れて下さい。



5 扉の吊り込み

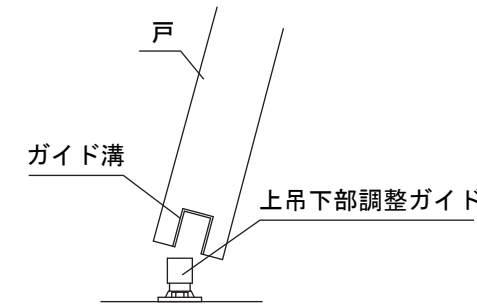
- まず、振れ止め防止金具に(扉に加工した)ガイド溝を差し込みます。 ※図1
- 次に扉のカップ部にホルダー部(レールに取り付けた)を差し込みます。 ※図2



❗ 「カチッ」と音がするまで確実に差し込んで下さい。不十分のまま開閉しますと扉の脱落や破損の原因となります。 ※図3

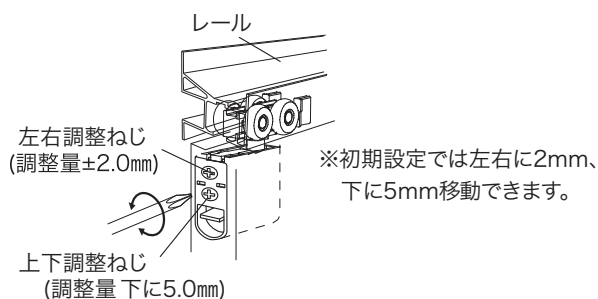
❗ **注意**

扉デザインがMM・MRの場合、扉の仕様上、下部ガイドが異なります。※下図専用の下部ガイドは、扉の梱包に同梱されておりますのでご注意ください。



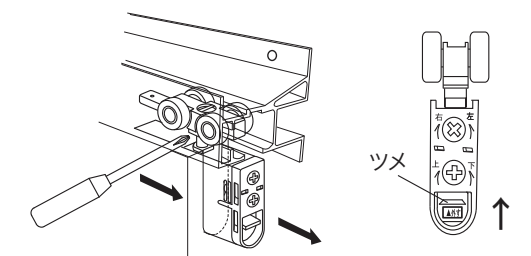
扉の位置調整

●扉を吊った状態で、ホルダー部の上下調整ねじ、左右調整ねじを回せば戸の上下左右の調整ができます。(調整範囲有)



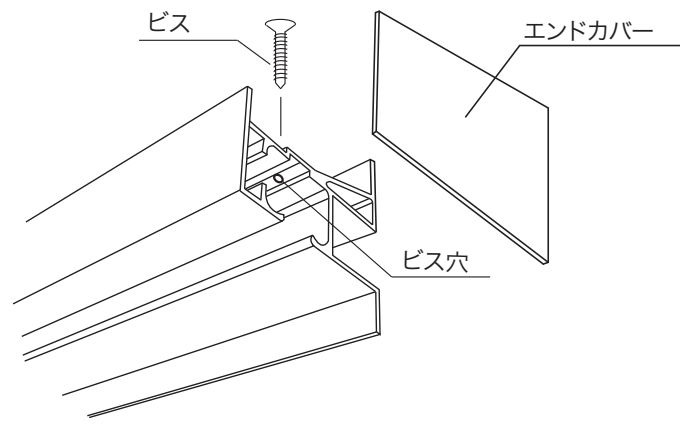
上下調整付吊り車の取り外し方

ツメを上へ上げながら引抜いてください。抜けない場合はドライバーなどで上下調整付吊り車を押し上げて下さい。 ※扉を少し持ち上げながら行うと外しやすくなります。



6 エンドカバーの取り付け

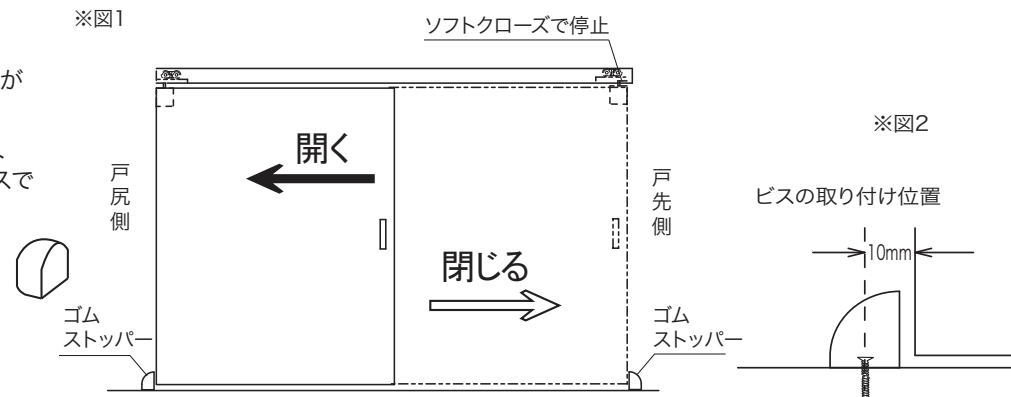
アウトセットレールの左右小口に付属のビスでエンドカバーを取り付けます。



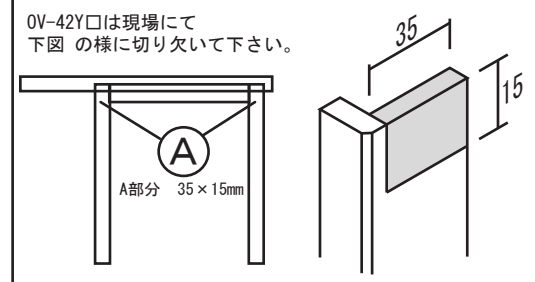
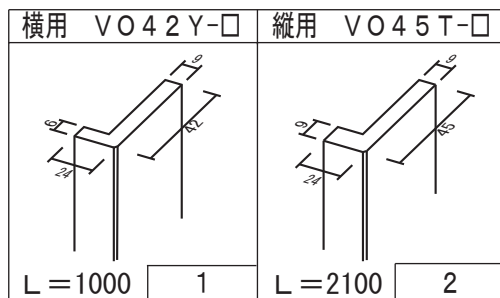
7 ゴムストッパーの取り付け

6でストッパーを取り付け後、扉を開き扉が停止した位置にゴムストッパーを図1,2の位置に付属のビスで取り付けて下さい。同じ様に戸先側にも扉を閉じた状態(ソフトクローズで扉が停止した位置)で付属のビスで取り付けて下さい。

※有効開口を確認して取り付けして下さい。



OP 開口見切り 開口見切りの取付は、木工用ボンド・針釘等を使用して下さい。

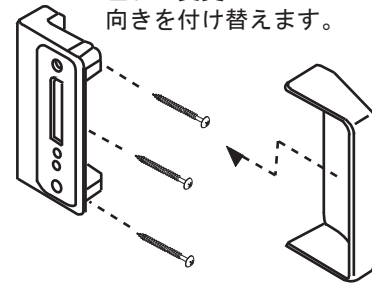
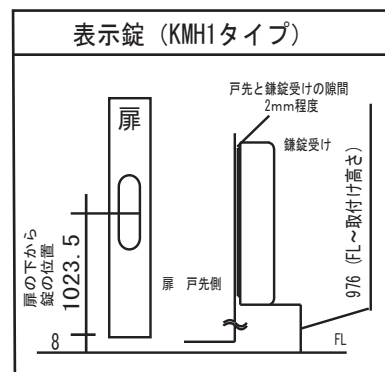


OP 錠受けの取付け (オプション品)

壁面に錠受けを取付けます。錠受けを取付ける位置に、下地材があることを確認して下さい。

扉を閉めた際に扉が上下のストッパーに同時に当たることを確認して下さい。

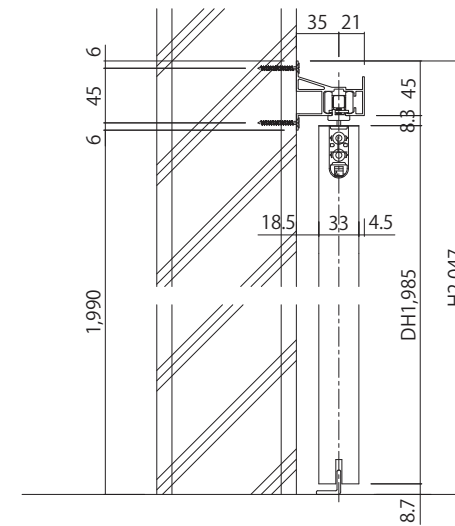
- ・付属のネジで取付けして下さい。
- ・錠受けは左右勝手兼用です。
- ・左右の変更はフロントプレートの向きを付け替えます。



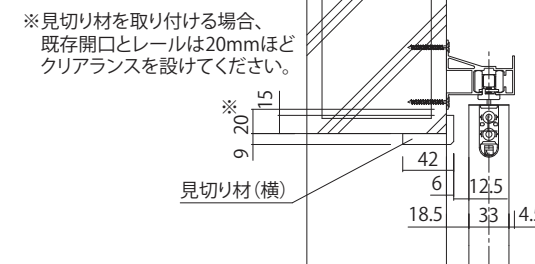
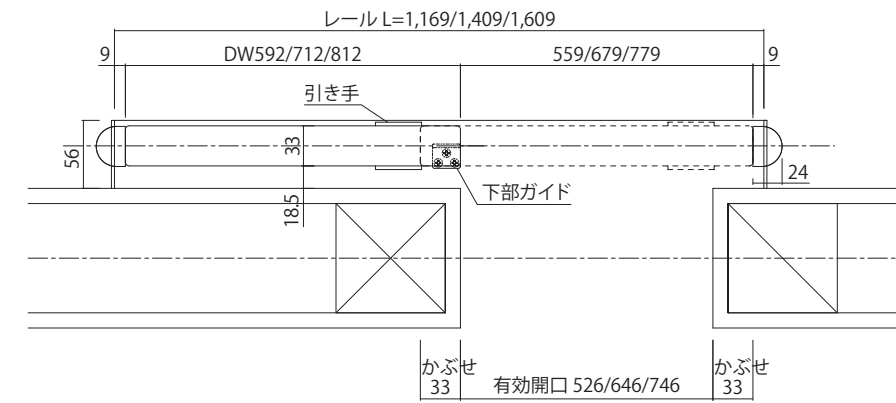
寸法図

縦断面図

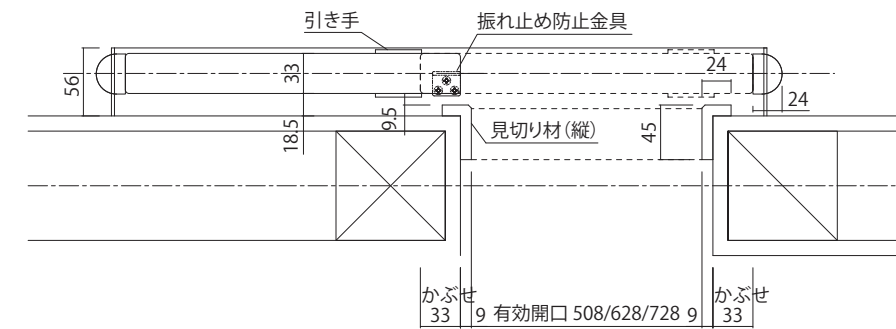
※垂れ防止の為必ず、上枠部に強度のある下地材を入れて下さい。



横断面図

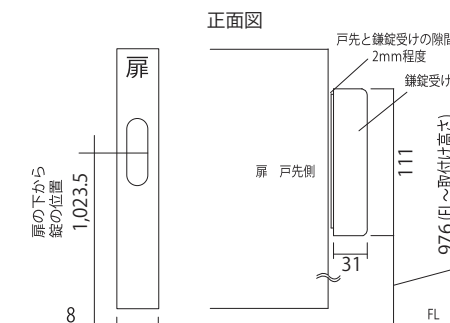


横断面図

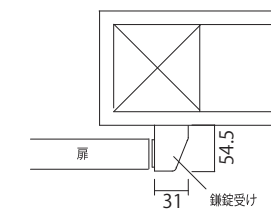


鎌錠受けOSJ-W取り付け位置

表示鎌錠 (KMH001タイプ)



横断面図



正面図

扉取付側

